

授業科目 感染看護学特論V (感染症看護 CNS の活動の実 際と課題)	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 後期開講	オンライン参加 <input checked="" type="checkbox"/> ・不可 「下記6,7.参照」
科目責任者	新改 法子		
担当者	新改 法子、福井 幸子、坂木 晴世(非常勤)、中村 麻子(非常勤)、 寺坂 陽子(非常勤)、富樫 ふみ(非常勤)、丸山 俊一郎(非常勤)		
1. 科目のねらい・目標			
<p><ねらい> 小児から高齢者までの感染症患者や易感染患者の看護を通して感染症看護専門看護師の6つの役割と機能について探究する能力を養う</p> <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 外来患者および一般病棟入院患者への感染看護について説明できる 2) 易感染症患者および感染症患者の看護過程が展開できる 3) 個別性に応じた感染看護の実践と課題について討議できる 4) 複雑な問題を抱える感染症患者への感染症看護の実践と課題について討議できる 5) 感染症患者事例の看護展開を通して、感染症看護専門看護師の6つの役割と機能を討議できる 			
2. 授業計画・内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1回 : 外来患者および一般病棟入院患者への感染看護(易感染症患者、感染疑い・感染症患者) (新改) 2-3回 : 易感染症患者および感染症患者のアセスメントと看護診断に対する計画(福井・新改) 4-5回 : 感染症看護の実践と課題ー小児(新生児)(坂木) 6-7回 : 感染症看護の実践と感染症看護専門看護師が抱える課題ー妊産婦(中村) 8-9回 : 感染症看護の実践と感染症看護専門看護師が抱える課題ー高齢者(寺坂) 10-11回 : 感染症看護の実践と感染症看護専門看護師が抱える課題ーコンプロマイズトホスト(富樫) 12-13回 : 感染症看護の実践と感染症看護専門看護師が抱える課題ー複雑な問題を抱える感染症患者 (丸山) 14-15回 : 感染症患者事例の看護展開を通して、感染症看護専門看護師の6つの役割と機能を討議する (新改、福井) 			
3. 教科書、参考書			
教科書：指定はない。 参考書： <ol style="list-style-type: none"> 1) 大曲貴夫/操華子編：感染管理・感染症看護テキスト，照林社，2015。ISBN:978-4-796-52350-9 2) Mary Fran Tracy, Eileen T. O' Grady 著：中村美鈴/江川幸二監訳：高度実践看護 統合的アプローチ，第2版，へるす出版，2020。ISBN:978-4-89269-996-2 3) 操華子，川上和美編：看護学テキストNICE 感染看護学，南江堂，2022。ISBN:978-4-524-22978-9 			
4. 成績評価方法			
講義・ゼミへの取り組み状況40%、プレゼンテーション・質疑応答の内容60%で総合的に評価する。			
5. 受講要件			
感染看護専門看護師コースの学生は必修			

6. 社会人学生に対する配慮

オンライン授業等は相談があれば個別に対応する。

7. その他

課題について文献検討を行い、プレゼンテーション資料を作成して臨んでください。

本科目は、一部オンライン講義を含みますが、基本的に対面による授業とします。

やむを得ない理由による欠席等でオンデマンドを希望する場合は事前に教員に相談してください。

視聴を許可した場合は、授業の概要および発問への意見をレポートにまとめて、指定した期日内に提出していただきます。授業担当者または科目責任者が学習目標に沿って評価し、目標達成が認められた場合に出席とみなします。